



こんにちは

村田 けい子 です

2017
12.15
No 132

みなさんのご意見・ご要望をお寄せ下さい。フェイスブックやっています。

発行/日本共産党立科町議会議員 村田桂子 立科町塩沢1483 ☎0267(56)2868

「今、私たちにとって、核兵器禁止条約が光です」

「あきらめるな。頑張れ。光が見えるか。それに向かつてはっていくんだ」

12月議会に、「日本政府に国連『核兵器禁止条約』への賛同と批准を求める意見書の提出に関する陳情」が原水爆禁止佐久地区協議会・ピースアクション佐久代表望月清泰さんより出され、12日の総務経済常任委員会で議論され、不採択となりました。【委員長 森本信明議員】

委員会では、趣旨採択と発言した森澤議員を除く全員が

不採択を表明。主な論旨は「唯一の被爆国として賛同すべきというのはわかるが、日本政府の「徐々に減らす」という立場はわかる。」「核兵器廃絶へのアプローチが違う。町として意見書を出すのはいかなものか」「心情はわかるがいま世界はNPT不拡散条約の下で軍縮に取り組んでいる。（禁止条約締結で）核軍縮が遠のく。他の方向での軍縮がある。」「北朝鮮のミサイル発射など不安な状況が続いている中で、アメリカの核で（安定が）保たれている。政府の言うことも分かる」と表明。陳情に背を向けました。委員長は意見表明をしませんでした。14日の本会議で採決が行われました。私はサーロー節子さんの言葉を引用して賛成討論を行いました。

国連加盟国の63%の122か国が賛成した核兵器禁止条約に、賛同しなかったのは、アメリカの同盟国と「核の傘」に入っている国だけで、実にアジアでは日本・韓国だけが反対（中国・インド・パキスタンも棄権）。だからこそ、地方から「批准せよ」と声を上げていくことが大事だと思います。同時に取り組まれている「被爆者署名」にもご協力をお願いします。



ノーベル平和賞授賞式で、初めて被爆者を代表して賞を受け、意見表明を行うサーロー節子さん。

台風21号で崩れた現場を視察



姥ヶ懐



虎御前



立石

11日の社会文教建設常任委員会で、台風被害の町道現場4か所を視察しました。今回の補正予算に、災害復旧経費として200万

円を計上しています。

このほかに農地、農業用施設の災害復旧地として、町の責任での復旧地が6か所、県の補助を受けられるところが1か所となっています。652万円を計上しています。

マセンターの養殖場に続く道路は、農道で、補助を受けて復旧することになります。



リンゴ畑に虎



今週のパチリ

台風被害に会った虎御前の場所を見に行った時、リンゴ畑の中に何やら黄色や赤いものがちらちら見えます。なんだろうと近寄って見ると「トラ」のバルーン。いくつもリンゴの木につる下がって睨みを聞かせています。中には長々と赤い蛇や女性の案山子もあります。「なんでトラ？」と思いますが、よく考えてみると納得。「虎御前」だからでしょう。リンゴ畑の持ち主のしゃれっ気に思わず笑みがこぼれたひと時でした。

補正予算 の審議から

- * 寄付金の6,000万円 ふるさと活性化基金に積む・・・今後活用について議論。
- * テレワークセンターに必要な備品(307.3万円)、テレワーカーの養成費用(175.4万円)・・・現在8名ほどが登録。講習費用は無料。テレワークはパソコンを使って仕事をすることで、子育て世代などの雇用確保につなげる意図です。
- * マイナンバーカードに旧姓使用、可能に。システム改修費136万円全額国庫補助

* 「権現の湯」ボイラーを交換。982.8万円 地下からくみ上げた温泉の湯を温めるためにヒートポンプを利用していますが、地下水に不純物が混じっているため、ヒートポンプのフィルターが詰まり故障する事態となっています。そのため、ボイラーで沸かしなおしていますが、その能力アップのために新しいボイラーに変える予算が計上されました。

* 福祉医療費の現物給付に対応するためのシステム改修費 24.3万円

* 小学校の合唱部、TBS主催子ども音楽コンクール東日本大会参加のバス代補助 25.8万円

* 蓼科高校へのバス運行経費に補助増額 中込からの生徒が増えたため、5月より中型から大型へバスを変更 (H29年54人 H28年36人)

12月議会一般質問

貧困化のすすむ日本の現状を知り、立科町でも子育て世代、高齢世帯への支援を強めるべきとの立場で質問しました。

I 子育て支援

1) 専門学校や大学に通う子供に給付型奨学金制度をつくって。

いただいた6,000万円の寄付金に町・町民からの寄付を募って奨学金基金を作り、進学希望の子どもたちに返済不要の奨学金制度を作って支援を。と求めました。



2) バス利用の高校生に通学費補助制度を



八カ野などから佐久・上田の高校へ通うバス代は月5万円近く。距離に応じた交通費支援はできないか。200人ほどの高校生に、交通費の3分の1補助月1万円でも助かる。

* 保育園・小中学校に通う子供の通学費

八カ野・虎御前などバスを利用する子どもたちへ距離に応じた交通費支援をしているが自己負担分がある。義務教育でもある保育園・小・中学校へ通う子どものバス代を無料に



3) 保育料・給食費「無料化」実施を

・同時入所の第2子・現在半額になっている世帯を無料に約260万円、保育料完全無料化・・・約2850万円(H28)

・給食費 小学校 1850万円 中学校 1100万円
合計 2950万円

【財源はある！】

財政調整基金+ふるさと活性化基金

16億円+ 7億円=23億円

財源は有るので、ため込まず活用を。

II 高齢者・障がい者にやさしいまちづくり

1) ゴミ出し支援・・・シルバー人材センターなど活用し、まずニーズ調査を。

2) 庁舎などの公共施設のバリアフリー化

① 公民館のバリアフリー化

* 階段の手すり・・・もう少し低い位置に握れる太さの手すりを設置して。【答】検討する。

* エレベーターの設置を・・・高齢者・子ども連れなどに急な階段は利用を遠ざける。家庭用エレベーターなら300万円程度でできる。

② 庁舎にエレベーターを・・・スペースはあるが現在倉庫として使われている。

3) タクシー利用に補助制度を

御代田町では600円の利用券で1500円の距離まで利用できる補助制度を作っている。町でも導入を。

(御代田町の財源400万円/H27/年間)



III 国保の広域化をめぐる問題・・・保険料の高騰を招かぬように町は支援を

来年4月より、国民健康保険事業が町から「町+県」に変わります。一般会計からの繰り入れを基本的には認めない方向で保険料が試算されています。保険料は高騰予想。払える保険料に町が支援するよう求めました。